

事務事業名	市道西日登平田線(西日登工区)改良事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
政策名	総合計画体系 (II)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	工務G	課長名	森田 一
施策名	(07)道路網の整備	担当者名	井上芳樹	電話番号(内線)	0854-40-1063
基本事業名	(018)生活道路の新設・整備	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 410 110 115 013		3739 起債道路整備事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(16年度~24年度)	事業予定区間 国道314号線から、瀬の谷三叉路 L=1150m W=4.5m~5.0m 測量・設計・用地・補償・道路改良・舗装	本路線は、木次町西日登から木次町平田までの集落間を結ぶ主要幹線である。西日登工区は久の元及瀬の谷地区から市内中心部へ向かう最短ルートであるが、現道幅が非常に狭いことや急カーブが連続し見通しが悪いことから早急な整備が望まれている。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
・道路改良 48,470千円 ・用地買収 1,182千円 ・物件補償 488千円 ・その他経費 1,160千円 合計 51,300千円	国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計(A) 千円		13,800	31,800	51,300	35,000	0	303,000
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数 人 延べ業務時間 時間 人件費計(B) 千円 トータルコスト(A)+(B) 千円		2	2	2	2	0	0
			1,144	778	394	0	0	0
			14,944	32,578	51,694	35,000	0	0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) ・道路改良 ・用地買収 ・物件補償 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 道路改良・舗装 電柱移転補償 用地買収	⑤ 活動指標							
		ア 暫定改良延長	m	120	100	560	185		1150
		イ 供用開始延長	m	350	450	965	1150		1150
		ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	市民	⑥ 対象指標							
		ア 人口	人	42402	41917	41159	41032		
		イ							
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	・安全にすれ違いが出来、スムーズに通行出来るようにする。	ア 改良済延長	m	350	450	965	1150		1150
		イ 供用済延長	m	350	450	965	1150		1150
		ウ							
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	安全で利便性の高い道路交通網を整備する。	ア 道路改良率	%	55.5	55.7	55.9			
		イ 生活道路が安全で便利であると感じる割合	%	58.9	57.1	55.7			

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
変化は、無い。	当初の橋梁計画を、カルバート工法に変更することで、設計及び工事費を軽減した。又、瀬の谷工区については、現道拡幅で計画・了解を得たことで、効率良く整備を進めることが出来た。	映画「うん何」の舞台となった、壺神さんへの観光ルートとなっていることから、早期改良を望む声が増えている。併せて、大島瀬の谷線の改良要望が、ますます強くなってきている。

事務事業名	市道西日登平田線(西日登工区)改良事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 道路の拡幅により、安全で利便性の高い道路の整備につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市道認定されており公共で整備すべきである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ ・瀬の谷～久の元間を結ぶ唯一の路線であり、見直しの必要はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 成果を向上させるためには予算措置が必要。 西日登道路委員会に地元対応協力。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 現況は道路幅員が狭く安全性の確保が困難である。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 独立路線であり、考える余地は無い。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 見通しの良い区間については、大きな土工を伴う拡幅を行わず既設側溝を蓋掛けに改良して、幅員を確保する等事業費削減を検討する。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ コスト節減に努めておりこれ以上の事業費節減はできない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市道認定されている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・過疎事業のため、延長から平成26年度完成を目指す。 ・用地買収・工事施工の地元協力体制の強化 ・事業説明会の仕方、地元への周知方法。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・現在の事業区間では地元自治会に協力をしていただいている。 ・今年度から、瀬の谷工区となり自治会長を委員長に道路委員会として調整いただけることとなった。 ・今後の計画調整、用地補償、工事施工について、自治会長を委員長として調整を行っていくことで、事業の効率・進捗がスムーズになる。	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×		低下	×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持			×																			
	低下	×	×																				
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
・年度で交替される自治会長との連絡調整を取り事業を進めていく。 ・地元振興会からの要望でも有り、状況について説明し、何かあれば協力を依頼する。																							